

フランス政府給費留学生募集

2013-2014年(エミリ・デュ・シャトレ学年度)



エミリ・デュ・シャトレ
Emilie du Châtelet
(1706 - 1749)

フランスの高等教育機関の一部には入学年度毎に著名な人物の名前を付けて同期生を表す慣習があります。それに倣い、2013年度フランス政府給費留学生には、エミリ・デュ・シャトレが選ばれました。エミリ・デュ・シャトレは18世紀前半の数学者かつ物理学者であり、科学界で影響力を持った最初の女性科学者の一人です。エミリ・デュ・シャトレは様々な点で類まれな人物で、当時は男子のみに限られていた教育を受け、並外れた知的能力を示します。

勉学に対する意欲は飽くことを知らず、外国語、演劇、音楽、哲学、そしてなによりも数学と物理学を学びました。その生涯を通し、エミリ・デュ・シャトレは、当時の一流知識人と交流し、中でもヴォルテールとは15年にわたり、愛人関係にありました。著書の中では、ニュートンの「自然哲学の数学的諸原理」のフランス語訳が最大の業績と言われています。エミリ・デュ・シャトレの名のついた人文社会学を専門とする研究センターが2006年に作られ、主にジェンダーの問題を取り上げています。

<http://www.institutemilieduchatelet.org>

多岐に亘る分野

フランス政府給費留学制度は、日本人学生とポスドク研究者を対象にした留学支援制度です。給費留学生試験の出願手続はオンラインによる登録と郵送による書類提出が必要です。

給費留学生には給費の他、社会保険が与えられます。また、学生は大学登録料が免除されます。学生給費、研究者給費など詳細についてはホームページをご覧ください。1931年に始まったこのフランス政府給費留学生制度により、既に3000名以上の日本人がフランスへ留学し、帰国後各分野において業績を挙げています。この制度は国際的にも高く評価されています。将来、日仏交流に貢献したいと願う日本人にとっては、またとない留学の機会となり、文化、科学、行政、芸術、経済などあらゆる分野に活躍の場が広がることとなるでしょう。

二つのカテゴリー

給費には文系、理系、二つのカテゴリーがあります。選考試験は別々に行われ、それぞれ日仏の専門家が審査します。受験者には詳細な留学計画(学位取得、論文作成、研究・研修計画など)の提出が求められます。またフランスの受け入れ希望機関と事前にコンタクトを取っておく必要があります。

文系

一次書類審査と二次面接試験により選考されます。新部門の開設:2009年度より日本の大学の2年次以上に在籍中の学生を対象とする学部留学部門を開設しました。詳細はホームページの「文系学部留学」をご覧ください。

お問い合わせ フランス大使館文化部
bourses.culturelles@ambafrance-jp.org

理系

一次書類審査と二次面接試験により選考されます。簡単なフランス語能力は必要ですが、十分な英語力があれば受験は可能です。給費には学生対象給費とポスドク研究者対象給費の2種類があります。それぞれの応募資格はホームページ募集要項(理系)をご覧ください。

お問い合わせ フランス大使館科学技術部
bourses.sst@ambafrance-jp.org

追加助成

フランス関連団体やフランス企業の協力により、給費額やその他の面でさらに優遇される可能性があります。

ホームページ「ロワール地域圏との共同給費」(文系)ならびに「フランス政府共同給費プログラム」(理系)をご覧ください。

日程(出願登録から出発まで)

2012年6月25日 オンライン出願登録および書類郵送
～9月30日 (2012年9月30日消印有効)

2012年10月～12月 選考期間 書類審査2012年10月～11月
面接試験2012年12月初旬～中旬

2013年1月 試験結果発表
2013年9月～10月 留学開始



www.ambafrance-jp.org/bgf